

清志郎さんの奥三河

鳳来寺山に近い湯谷温泉（新城市）は、日本を代表するロックシンガーで、5月に三回忌を迎えた忌野清志郎さんに愛された名湯だ。忌野さんは生前、奥三河の坂道を自転車で走り、がんになった後は温泉宿で療養していた。58歳で亡くなった後も「清志郎さんが愛した宿を見たい」と訪れるファンがいる。



筑紫さんとの対談も

ともにかんで亡くなった忌野清志郎さんと筑紫哲也さんが、TBSの「NEWS23」で最後に対談した場所も湯谷温泉の近くだった。筑紫さんの最後の出演になった2008年3月28日に放送された写真対談収録後、記念撮影をした（左から）筑紫さん、加藤さんの次男・直詳さん、清志郎さん（加藤慎子さん提供）。

「NEWS23クロス」の吉岡弘行・番組プロデューサーによると、忌野さんが当時、湯谷温泉に療養のために滞在していたため、筑紫さんらが足を運び、3月25日に収録した。吉岡さんは「筑紫さんもがんで体調が思わしくなく、清志郎さんから『いい温泉がある』と勧められ、温泉の近くで対談することにした」と話している。

雨あがりの夜空に輝く

湯谷温泉に残る記憶

湯谷温泉の旅館「湯の風HAZU」や「はづ別館」のロビーの一角に、小さな絵のコピーが飾られている。題は「奥三河の風景2003」。火縄銃を構える姿や鳳来寺仁王門、鳳来寺

山に生息するコノハズク、花祭りなど、同温泉周辺が描かれている。忌野さんが2003年、この温泉の旅館に泊まり、描いた。忌野さんは、宇連川の流

自転車で走った坂道

がんの療養地 「親孝行」の宿

民芸調の客室を好んでいた。所属事務所によると、塩分が含まれた泉質と料理が気に入っていた。「湯の風HAZU」や「はづ別館」などを経営する「株式会社はづ」の女将加藤慎子さん（61）によると、今月も

来、付き合いが始まった。奥三河の山あいにある湯谷温泉には、9軒の旅館がある。自然が豊かで、ロードバイクのツーリング客が頻繁に行き交う。

日新聞に掲載された連載「おやじの背中」で、忌野さんは「実父」と「育ての父」の2人の「おやじ」がいることを告白し、複雑な家庭環境をうかがわせている。実父のことはずっと気

30代ぐらいの女性が「清志郎さんのお気に入りの部屋はどこですか」と訪ねてきたという。

自転車好きの忌野さんは、そんな環境も気に入ったようだ。春休みや夏休みには、東京から自転車を車に乗せ、奥三河の加藤さんの宿に泊まりに来た。元気なころは、4、5時間かけて、鳳来寺山や四谷の千枚田周辺など新城市北部を自転車で走ったり、温泉街のそば屋に顔を出したりしていた。06年7月に喉頭がんを公表して以降も、療養のために頻繁に訪れた。忌野

さんには「優しい人」。忌野さんがカメラに凝っていた時、行き来する加藤さんにレンズを向け、写真を撮っては喜んでた。「ロビーで座っていて、宿泊客が来ると、席を譲るなど気遣いの人。普通のおじさんでした」

忌野さんが湯谷温泉に通い出したのは10年ほど前から。鹿児島県で開かれた共通の知人の結婚パーティーで、加藤さん一家と忌野さんが知り合いとなり、以

1995年7月31日に朝

（小山裕一）



忌野清志郎さんが描いた「奥三河の風景2003」①宇連川を背に思い出語る加藤慎子さん。持っているのは清志郎さんが描いたうちわと絵②新城市の湯谷温泉